

PART 7 2 世界の潮流

米国のインシチュアテックの取り組み②

国際社会経済研究所 (NECグループ)主幹研究員

大平 公一郎



保険料の割引や、何か問題が生じたときにスマートフォンなどを通じた情報提供がなされるというメリットがある。

ドローンも活用

一方、嵐やひょうなどによる住宅屋根の被害調査では、飛行ロボット(ドローン)の活用している。また、洪水

住宅向けIoT機器を提供する企業	
企業名	主要製品
Canary	オールインワン監視カメラ
Flo Technologies	水漏れ検知センサー
Nest	監視カメラ付きドアベル、熱センサー、電子錠など
Roost	煙探知機用通信装置、水漏れ・凍結検知センサーなど

インを使えば、上空から被害を調査することが可能になる。これは、ウェアラブル端末で毎日の歩数を計測し、目標をクリアすると報奨金を獲得できるプログラムを提供している。John Hancockが南アフリカ共和国のDiscoveryと組んで提供するVitalityプログラムでは、契約者が健康診断、予防接種、運動(ウェアラブル端末で測定)といった項目ごとにポイントを獲得し、たまったポイントを保険料やさまざまな提携商品の引きに利用できる。また、若い世代の加

火災など防ぐ 前回は自動車分野にし、保険金の支払いにおけるインシチュアテック活用について取り上げたが、住宅分野ではとる動きがある。水漏れ・凍結検知センサーや煙感知センサー、監視カメラといったIoT(Internet of Things、モノのインターネット)機器を使用う。保険契約者には、

住宅分野でIoT活用

る。例えば、健康保険大手のUnited Healthcareは、ウェアラブル端末で毎日の歩数を計測し、目標をクリアすると報奨金を獲得できるプログラムを提供している。John Hancockが南アフリカ共和国のDiscoveryと組んで提供するVitalityプログラムでは、契約者が健康診断、予防接種、運動(ウェアラブル端末で測定)といった項目ごとにポイントを獲得し、たまったポイントを保険料やさまざまな提携商品の引きに利用できる。また、若い世代の加

(金曜日掲載)